

令和3年度第2回玉名市行政改革推進懇話会会議録（要約形式）

日 時：令和4年3月18日(金) 午後2時～午後2時50分

場 所：本庁舎4階第2委員会室

出席者：行政改革推進懇話会委員5人

（澤田会長、嘉永副会長、野島委員、和田委員、井上委員）

事務局5人（今田部長、石貫課長、萩尾補佐、小川参事、坂西主任）

以下の議事に関する会議録（質疑応答等）は次のとおりです。

（凡例）■：行政改革推進懇話会委員 □：事務局

議題1 第4次玉名市行政改革（案）について

- ：3つの基本方針は極めて民間的な課題意識であり、それぞれが相互に関連している。実行計画の策定に向け、具体的に何をするか、進捗管理のためのKPI設定が大事となってくると考える。DXなどは特に具体的に決めていかないと進まない。また、当事業所では、RPAを取り入れ、事務の効率化を進めている。
- ：当事業所では会議でのペーパーレスやFAXの廃止を行い、経費の削減に努めている。賛否両論であったが、やると決めて進めることが必要と考える。
- ：得意分野の部分である、人材育成の観点で意見を述べたい。官公庁へは、コミュニケーションを求めて来た市民に対する「不安や緊張を取り除き、威圧感を与えない」接遇が必要。また、市職員は市民を支援職であるため、職員自身のメンタルケアも必要。
- ：民間企業としても人材育成が永遠の課題であると感じている。当事業所でもDXを導入し、生産性向上を図っている。また、ペーパーレスについても、タブレットを活用し、会議資料の削減に努めている。
- ：3つの基本方針は相互に関連していることから、全体的に進める必要がある。また、一般的には人・モノ・金・デジタル化の4本立てである。公共施設マネジメントがモノに当たると思うが、そちらはどうなっているか。
- ：第3次の際は行革大綱と公共施設適正配置計画の2本立てで進捗管理していたが、個別計画で管理されていることから、第4次行革大綱では削除している。
- ：モノの部分はそちらの計画に任せているということだが、それらは繋がっていると考えられるため、目配りは必要であると考え。

議題2 第4次玉名市行政改革大綱実行計画（案）の策定スケジュールについて

質疑なし

その他

- ：基本方針の3つについて、バラバラではなく全体で進めることを追記いただきたい。人材育成基本方針を生かす実行計画の策定をお願いしたい。DXについては、思い切って大胆に進めることが必要であるので、実行計画で配慮するようお願いする。

【午後2時50分終了】